

2022年12月1日

## - K Hネオケム株式会社 2022年度 社会貢献活動実施レポート -

### 製造拠点ゆかりの地 千葉県市原市で 第6回社会貢献活動を実施

K Hネオケム株式会社 経営管理部

当社は、2017年より全社一丸となって社会貢献活動を毎年継続して実施しており、今年で6回目となります。当社千葉工場のある千葉県市原市で化学素材メーカーである当社事業とゆかりのある「塗料」を用いて社会貢献活動を実施いたしましたので、以下にご報告いたします。

社会貢献活動 概要	
実施活動	市原スポレクパーク敷地 内ベンチの 塗装 補修・および増設分 16 基を寄贈
日程	2022年11月5日(土) 13:00~15:00
実施内容 詳細	・千葉県市原市の総合スポーツ施設「市原スポレクパーク」に、木製の仮設ベンチ16基を増設。 ・役員と社員が前回までに寄贈した敷地内ベンチを含む124基の塗装補修を実施。
参加者	K Hネオケム株式会社 社員・役員合わせて49名 (本社:18名 千葉工場:31名) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本社・千葉工場のみ参加に限定

#### 活動内容

今回の活動では、市原スポレクパーク敷地内に木製の仮設ベンチ16基を寄贈。また、当社の製品が使用されている塗料を用いて、役員・社員とご家族が増設・既存ベンチ合わせて124基を手作業で塗装しました。

前回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者を本社・千葉工場のみ限定し、計49名が参加しました。今回はお子さんの参加も多く、慣れない塗装作業であったかと思いますが、皆さん1基ずつ丁寧に塗装をしました。また、休憩時には綺麗に張り替えられた人工芝のグラウンドでボール遊びをする様子も見られ、ご家族と一緒に楽しみながら本活動に参加いただきました。



塗装作業風景



市原市のマスコット「オッサくん」も駆けつけてくれました

閉会式では、今回の社会貢献活動を記念した記念プレート除幕式を行った後、小出市長よりご挨拶を賜るとともに感謝状を頂戴しました。最後には、当社中橋千葉工場長より、「今後も市原市や市民の皆さまからのご支援を賜りながら、この市原の地で化学工場を安定安全に操業していきたい」と、閉会のご挨拶をさせていただき、本活動を終了しました。

市原スポレクパークは、今年の2月に人工芝の全面的な張替工事をおこない、より市民の皆さまに利用していただきやすい環境になりました。あわせて、10月30日に開催された当社が後援をしている市原友遊ボール大会も今年度より同会場で開催いたしました。今後もより一層、多くの方がスポレクパークを訪れる中で、本活動を通じて市原市のスポーツ振興に少しでもお役にたつことができたことは、当社にとっても大変有意義なものと考えております。

本活動は、来年以降も継続して行っていく予定です。今後も地域の方々を始めとするさまざまなステークホルダーの皆様に対して、これらの活動を通じて継続的に貢献してまいりたいと考えています。



市原市より感謝状をいただきました(左：高橋社長 右：小出市長)



記念写真

## 千葉工場概要

ISO14001 認証登録工場

〒290-8560 千葉県市原市五井南海岸 11-1

TEL: 0436-23-9111 FAX: 0436-23-9129



千葉工場は、京葉臨海中央地区コンビナート内に215,000m<sup>2</sup>の敷地を有しており、可塑剤原料である工業用高級アルコールや合成脂肪酸、炭化水素類などの機能性製品を製造しています。環境対応型エアコンなどで使用される潤滑油原料のイソノナン酸は国内では当社だけの製造で、世界でもでも高いシェアを誇っております。

## 本活動で中心となったスタッフの声



千葉工場総務課 島田雅人 さん

### Q 1. 市原スポレクパークにおける社会貢献活動の取り組みについてどう思いましたか？

A：市原スポレクパークは、ラグビーやサッカー等国内外の一流チームやアスリートの方から地域のお子様・ご年配の方まで幅広い世代の方に愛され、利用されている施設です。そのような市民の皆さまの日常生活に近い場所にある施設で、ベンチの新設、修繕や塗装等の取り組みをさせていただけることは、地域貢献の観点からもとてもやりがいのある活動であると感じています。今後も、市原スポレクパークが、市原市のスポーツ振興の拠点となれるように継続的に支援できたらと思います。

### Q 2. 今回の塗装作業に参加した感想

A：今回の塗装作業も、前回に続きコロナ感染拡大防止のため限られた精鋭での活動となったため、一人2～3基のベンチ塗装が任せられ、1時間半の時間があっという間に過ぎていきました。塗装前は雨風にさらされることにより若干の劣化も見受けられたベンチが、塗装をすることで綺麗になり、施設全体が明るくなった印象を受けました。小さなお子様も一生懸命塗装作業に参加され、「楽しかった！またやりたい」と満面の笑みで話してくれて、こちらも元気をもらえた活動になりました。

### Q 3. 社会貢献活動の取り組みに対して、社員として考える今後の展望（今後の市原市への貢献など）

A：昨今 SDG s に代表されるような「持続可能な発展」のために欠かせないものは、「接点作り」が重要であると感じます。先日は市原少年野球協会主催の「市原友遊ボール大会」がスポレクパークで開催され、当社はその支援をさせていただきました。綺麗な天然芝を舞台に熱心に友遊ボールを楽しむ子どもたちや、一生懸命応援される保護者様の姿を見て、勝負に勝ち負けはあるものの、自己成長のための一つのツールとして良い「接点」の場となったのではと感じました。

今後も、「持続可能な発展」のため、市民同士また市民と企業、行政と企業といった様々な接点を通じて、市原市の未来を切り拓く大きな原動力となるようなご支援ができればと思います。

## 市原市役所 担当者の声



市原市役所 スポーツ国際交流部 スポーツ振興課 鍋島圭吾 様

**Q 1. 今回、弊社が市原スポレクパークのベンチおよび塗装補修作業を行ったことについてどのように思われましたか？**

**A :** 市原スポレクパークで3回目の実施となりました木製ベンチの塗装補修作業は、年々、皆様の塗装作業の熟練度が増されていると感じており、今回も綺麗に仕上げさせていただき感謝申し上げます。

私自身が本取組みに携わらせていただく機会は2回目となりましたが、毎回多くの貴社の社員の方々が地元・地域貢献のために、ベンチ寄贈後も継続して塗装補修される姿にあらためて感銘を受けました。

**Q 2. 補修後の一般の方々によるベンチ利用に対する感想や反応はいかがでしたか？**

**A :** 今回、観戦用のベンチだけでなく、人工芝グラウンドの利用者が使用するベンチの修繕及び塗装をしていただき、利用者からは「座り心地が良くなった」や「綺麗なベンチで休める」といった利便性や満足度が向上した感想を多く頂いております。さらに魅力を増した市原スポレクパークは、今後、訪れるの方々により一層ご満足いただけるものになったと感じており、今後も大切に使用させていただきます。